

岩手競馬開催実績等について

平成23年6月21日

財 政 部

1 平成23年度第3回盛岡競馬前半まで（5月14日～6月13日）の発売実績

(1) 発売額の計画達成状況等

(単位：百万円、%)

区分	岩手競馬発売 (H23.5.14~6.13)				広域委託 発売額
	自場発売	広域委託発売	インター ネット発売	計	
計画額 (a)	877	471	293	1,641	628
実績額 (b)	945	492	336	1,773	687
差額 (b-a)	68	21	43	132	59
達成率	107.8	104.6	114.6	108.1	109.3

(2) 発売額・入場者数の前年度比較（5月14日～6月13日（15日間））

(単位：百万円、%、人)

区分	発 売 額			入 場 者 数			
	平成23年度	平成22年度	前年度比	平成23年度	平成22年度	前年度比	
自 場 発 売	水沢競馬場	203	297	68.6	(14,111)	(34,197) 5,661	(41.3) 皆減
	盛岡競馬場	380	341	111.4	(44,452) 44,452	(42,018) 37,489	(105.8) 118.6
	宮古場外 ※6/4~	12	28	43.9	(985)	(2,686)	(36.7)
	釜石場外	—	64	皆減	—	(4,001)	皆減
	種市場外	75	72	104.3	(14,447)	(16,291)	(88.7)
	安代場外	32	37	86.0	(2,229)	(2,443)	(91.2)
	大通場外	27	29	93.4	—	—	—
	県内施設・計 (a)	729	868	84.0	(76,224) 44,452	(101,636) 43,150	(75.0) 103.0
	横手場外	107	107	100.2	(35,943)	(36,137)	(99.5)
	山本場外	42	42	98.7	(6,665)	(7,131)	(93.5)
	三本木場外	—	154	皆減	—	(13,122)	皆減
	十和田場外	37	47	78.2	(7,148)	(8,757)	(81.6)
	つがる場外	12	10	111.7	—	—	—
	福島場外	—	9	皆減	—	—	—
	東京場外	18	17	106.5	—	—	—
	県外施設・計 (b)	216	386	55.8	(49,756)	(65,147)	(76.4)
	計 (a+b)	945	1,254	75.4	(125,980) 44,452	(166,783) 43,150	(75.5) 103.0
広域委託発売	492	543	90.6	—	—	—	
インターネット発売	336	328	102.4	—	—	—	
合 計	1,773	2,125	83.4	(125,980) 44,452	(166,783) 43,150	(75.5) 103.0	

注1 発売額及び入場者数の前年度比について、盛岡開幕から同じ延べ日数に当たる開催日まで（15日間）の比較。

2 入場者数について、実数は競馬開催場における入場者数を、( ) は総入場者数（水沢・盛岡競馬場、各テレポートラックにおける入場者数で、概数）を記載していること。

3 端数調整等により、計数に異動が生ずる場合があること。

## 2 「岩手競馬経営の将来方向検討会議」について

### (1) 検討の経過

- 平成 22 年 11 月 岩手競馬を将来にわたり安定的に経営していくために、中長期的な視点に立った経営安定方策を検討するため、外部の有識者による検討会議を設置  
(競馬場の現地調査や厩舎関係者との意見交換を行いながら検討)
- 平成 23 年 2 月 岩手競馬の現状と課題を整理し、安定経営に向けた基本的方向(タタキ台)を取りまとめ(第4回会議)
- 平成 23 年 3 月 東日本大震災津波の発生に伴い、当分の間、開催を延期

### (2) 検討会議の対応

- 岩手競馬は、今般の震災により、水沢競馬場のスタンドや釜石テレポート等施設が甚大な被害を受け、開催日数が大幅に減少するとともに、消費の冷え込みなどの不安定要因も抱えており、検討会議においてこれまで議論してきた経営環境等が大きく変化している。
- このような中で、当面は、被災施設の復旧と経営の安定化を図る取組に全力を傾注することが急務であり、検討会議の議論の成果を競馬組合の運営に取り込んでいくことは困難な状況である。
- このため、将来方向の検討は中断することとし、検討会議は一旦閉じることとする。今後、一定の安定的な運営のめどが立った時期において改めて検討を行う。

(参考)

#### 岩手競馬経営の将来方向検討会議 委員

区分	氏名	所属等
座長	藤井克己	岩手大学学長
座長代理	八木橋伸之	弁護士
委員	雨宮敬徳	地方競馬全国協会副理事長
委員	及川富美人	水沢信用金庫理事長
委員	荻野洋	㈱日本レストランエンタプライズ取締役会長
委員	加藤久智	㈱IBC岩手放送ラジオ放送部専任部長兼アナウンス部専任部長
委員	倉原宗孝	岩手県立大学総合政策学部教授
委員	佐々木岳	水沢青年会議所直前理事長
委員	下田栄行	公認会計士
委員	鈴木宏延	岩手県中小企業団体中央会会長
委員	林晶子	㈱瑞光つなぎ温泉四季亭専務取締役

### 3 岩手競馬施設の災害復旧について

#### (1) 震災被害の状況と復旧方針

##### ア 被害の状況

地震被害の総額は、4月7日の余震による被害を加え、概算で約1,201百万円

##### イ 施設の復旧方針

##### ① 基本的な考え方

・被害額が大きいこと、地全協との調整が必要であること等から、2期に分けて復旧工事を実施

・財源は、地全協の「災害復旧緊急助成事業」(9割補助)を活用

【第Ⅰ期】早急に発売施設を復旧させるため、盛岡競馬場、水沢競馬場テレトラック等の工事を先行

※ 釜石テレトラックについては復旧を断念

【第Ⅱ期】水沢競馬場スタンド施設は、地全協の支援が内定したことから、近々に工事着手

##### ② 復旧計画

(単位：千円)

	施設名	工事費	備考
Ⅰ期	・盛岡競馬場 内装、空調設備改修	4,100	
	・水沢競馬場テレトラック 内外装、電気・空調設備、投票設備、電源設備改修	133,450	
	・宮古場外施設 内装、電気設備、投票設備改修	6,500	
	・三本木場外施設 内装、消防設備改修	31,500	
	・パルソビル 電源設備	2,600	
	小計	178,150	
Ⅱ期	・水沢競馬場スタンド 内装、床補強、ガラス補修、2・3階耐震補強工事、 大屋根下部水平プレス補修	231,300	
合計		409,450	

#### (2) 水沢競馬場スタンド復旧工事の実施

ア 水沢競馬場スタンド施設については、事業費の精査の過程で、大屋根の被災箇所の拡大等に伴い、復旧工事費が増額。(117,300千円→231,300千円)

イ 地全協に改めて復旧工事への支援を要請し、スタンド施設復旧の必要性が認められ、6月20日、支援が内定。

ウ 直ちに工事に着手するため、補正予算を編成し、専決処分を行った。

エ なお、工事期間については、約5ヶ月間を予定(11月下旬を目処)。

但し、南部杯施行時(10月10日)までには、1～2階の発売施設を復旧させる計画。